

苦土の補給がポイント



ブドウ栽培農家のみなさまへ

キーゼライトで差をつけてみませんか!!

★ 『キーゼライト』ってなに？

- ◎原産国はドイツ、地下鉱石を原料にした**天然硫酸苦土**
- ◎鉱石由来なので、**長く効く苦土**
- ◎保証成分は水溶性を保証、**効き目も早い吸われやすい苦土**
- ◎粒状品：水溶性苦土24%（粉品は有機JAS別表1適合資材：水溶性苦土27%）



キーゼライトは…

早く効く、そして長く効く水溶性の苦土資材!

★ 苦土はなぜ必要なの？

◎葉っぱの中にある光合成を行う**葉緑素の核**

- ・葉緑素の少ない葉（≡色が薄い）
→光合成がしづらく、樹や実が大きくなりづらい
- ・葉緑素の多い葉（≡色が濃い）
→**光合成が活発になり、養分吸収も促進**

葉緑素が緑色なのは
苦土のおかげ



◎りん酸との相性がよく、**相乗効果でりん酸の吸収を助ける!**

りん酸が十分に吸収できている作物は…

- ・細根が増え、養分が吸収しやすくなります
- ・開花、結実が順調に進みます
- ・光合成が活発になり、養分を蓄えます

苦土とりん酸は仲良し!



りん酸が
吸収しづらい環境で
より効果的!



◎カリ過剰の圃場、**苦土とカリのバランスを整える**

カリ過剰の圃場では苦土の吸収が抑制されます。
塩基のバランスを整えることで、作物は多くの養分をより吸収できるようになります！
ブドウは、**圃場がカリ過剰の場合に苦土欠乏が出やすい果樹**です。
特に開花後より新梢基部の葉脈間に色抜けが見られる圃場は、慢性的に苦土欠乏を
起こしている可能性があります。

カリが多いと苦土が
吸収されづらくなる…

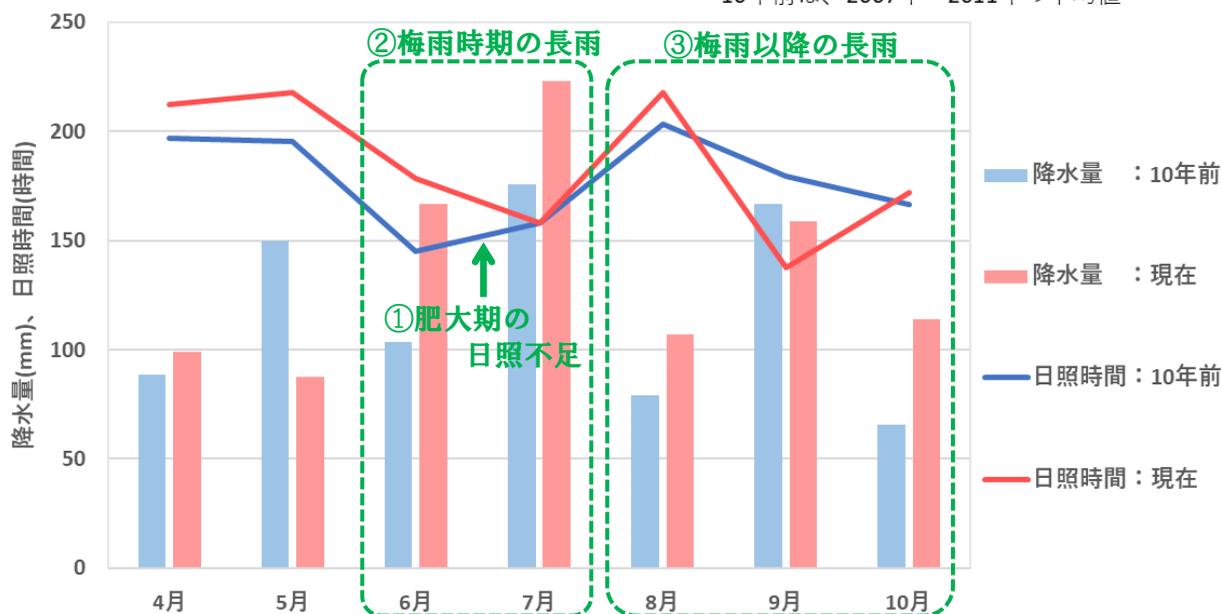


**苦土を効率よく吸収させる「キーゼライト」で、
異常気象にも負けないブドウ栽培をお助けします!**

★ 山梨のブドウで『キーゼライト』は効くの？

岡山市の降水量と日照時間（気象庁HPより）

※現在は直近5年間の平均値（2017～2021年）
10年前は、2007年～2011年の平均値



→近年は昔と比較して、特に肥大期以降、日照時間が減り、雨も多く降る傾向。

【摘果後の天候不良】

①肥大期の日照不足（6月以降の日照が少ない！）
光がないと光合成ができず、肥大が遅れる可能性があります。苦土の施用で葉色の維持を目指します！

②梅雨時期の長雨（特に7月の雨が多い！）
土壌水分が多いと、ブドウは窒素を中心に吸収し、葉っぱばかりが大きくなってしまいます。

【収穫期以降の天候不良】

③梅雨以降の長雨（秋も雨が多くなっている！）
肥大期や収穫直前での苦土の欠乏は、着色を著しく低下させるとともに、糖度の低下、果肉の弾力が失われ、食味・触感などの品質の低下を引き起こします。
また、苦土は再転流されやすい養分の為、秋に施用しておくくと来春の新芽の揃いにも貢献します。

	キーゼライト施用時期		収穫時期
	収穫75日前	収穫後	
無加温	7月上旬～ 9月中旬	11月中旬 まで	9月中旬～ 11月上旬
加温	4月下旬～ 6月上旬	9月中旬 まで	7月上旬～ 8月下旬
早期加温	3月上旬～ 4月中旬	7月下旬 まで	5月中旬～ 6月下旬

キーゼライトは、
早く効く、そして長く効く水溶性の苦土資材です！
長雨による流亡のリスクを低減しつつ、
必要なタイミングで苦土を供給できます！

収穫75日前に60kg/10a

- ・葉が大きくなりすぎない
- ・玉の肥大、着色が良い
- ・糖度が安定

収穫後に60kg/10a

- ・貯蔵養分の蓄積
- ・翌年の新芽が揃う